

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	4年次・前期／後期・B群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科	
文学概論 (Introduction to Literatur)	担当教員	田中智樹 (Tanaka . Motoki)	
	教員室	図書館2階 (内線 9040)	
	E-Mail	m-tanaka@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義／学修単位〔講義Ⅱ〕／1単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (50分)＋自学自習 (100分)〕×18回		
〔本科目の目標〕日本文学、特に上代散文から古事記を取りあげ分析していく。歴史書である古事記や日本書紀、或いは地誌である風土記は「記録」として重要な資料である。しかし「記録」として以上に、日本神話や歴代天皇の物語は文学的である。影響を与えた平安時代以降の文学作品にも言及しつつ、古事記の文学的萌芽の様子を分析することで、日本文学の素養、基本的文章作成能力、論理的思考力の育成を図る。			
〔本科目の位置付け〕3年次までの現代文、古典学習を基礎とする。鑑賞、分析、批判による読解の方法を学び、それを文書化することで、読解能力の定着と文書作成力の養成を図る。			
〔学習上の留意点〕講義はもちろん提示する各作品に対して主体的に取り組む姿勢を求める。概論として受動的な講義形式と文章作成などの実践的な演習形式で行い、その成果を口頭やレポートによって発表してもらう。このため自ら考え、調査し、発言をする主体性、積極性をもって講義に臨む必要がある。演習形式を予定していることから受講者数の調整をお願いする場合もある。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1 文学とは	4	・文学の定義について理解できる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
2 国学とは	4	・国学の定義について理解できる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
3 奈良時代の文学作品	2	・奈良時代の文献について、それぞれの特色が理解できる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
4 古事記の分析	2	・古事記の概要について理解できる。 ・古事記の構造について理解できる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
【上巻】日本神話			
5 天岩戸神話の分析	3	・民俗学的背景を理解した上で物語を分析することができる。 ・代表的な日本神話の読解によって、その世界観を理解することができる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
6 起源譚・由来譚	3	・物語の分類として起源譚、由来譚を理解することができる。 ・項目1から4について達成度を確認する。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
――中間試験――			
7 話形 語り継がれるパターン	3	・物事の起源や由来を古事記が語るころの意味を理解することができる。 ・後世に現れる様々な語りの祖型を古事記に認め、その意味を捉えることができる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
【中巻】英雄時代 (神武天皇～応神天皇)			
8 天孫降臨から神武天皇 初代天皇の物語の特異点	3	・その他の天皇記との構成要素の違いを理解し、その意義を捉えることができる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
9 英雄譚－倭建命－ 古今の英雄像を比較する	3	・古事記編纂当時において一般化された英雄像を理解できる。 ・現在の英雄に対する認識と比較し、常識の時代的変遷を捉えることができる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
10 仲哀・応神・神功皇后 大陸と九州にまつわる伝承	3	・大陸について記す古事記編纂者の意図が理解できる。 ・九州にまつわる神話、伝承を把握することができる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
【下巻】天皇の歴史 (仁徳天皇～推古天皇)			
11 神から天皇、そして現在へ 仁徳天皇の描かれ方	3	・古事記が歴史書、文学両面の性質を有していることを理解できる。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
12 古事記とは	1	・総括的に古事記について自らの意見を持つことができる。 ・項目7から12について達成度を確認する。	・配布物を読み講義予定の箇所を把握しておく。
――期末試験――			
試験答案の返却・解説	2	・各試験において間違った部分を理解できる。	

〔参考書・補助教材〕 適宜プリントを配布。

〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕 2-a, 4-b

〔JABEEとの関連〕 (a) (f)

[illegible]